

平成二十三年度入学試験問題（前期日程）

小 論 文

法文学部 国際言語文化学科 琉球アジア文化専攻

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は、必ず解答用紙に記入すること。問一は表面、問二は裏面に書くこと。
- 三、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 四、解答時間は、一五〇分である。
- 五、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

非公開

問題

次の文章を読んで、  
あとの問いに答えなさい。

非公開

非公開

非公開

(注) ファサード＝建物の正面

(中村良夫、『風景学入門』、中公新書、一九八二年、一五六―一六四ページ、抜粋・一部改変)

問一 本文の論旨を六〇〇字以内でまとめなさい。

問二 本文の論旨を踏まえ、アジア(琉球・沖縄、日本を含む)の都市を例示しながら、あなたの考える「都市風景」の美しさを六〇〇字以内で論じなさい。

平成二十三年入学試験問題（前期日程）

小論文

法文学部 国際言語文化学科 琉球アジア文化専攻

出題の意図

国際言語文化学科の琉球アジア文化専攻は、琉球・沖縄および日本・アジアという地域を主な対象とする広汎な文化認識の習得を目標とし、具体的にはこの地域に関する歴史・民俗・文学・言語などへの関心と理解を深めることを目指している。したがって、この専攻への入学希望者には、沖縄や日本そしてアジアの文化の成り立ちに対する深い関心と理解力が求められる。問題文は、都市の風景が持つ基本的性格について具体例を示しながら筆者の知見を述べたものである。本出題の意図は、都市論・風景論に関する論述形式の文章を正確に読みとり、論旨を的確に把握できるかをみることにある。加えて、本専攻の対象とする地域の都市風景の美しさの背後にある文化についての受験生の理解力、および独自の発展的な思考力や論理構成力、言語表現力などをみることにある。